

検証 コロナ時代

顕在化した同調圧力

相互監視、感染者を中傷

「自粛警察」に代表される相互監視、感染者や医療従事者への中傷・差別…。新型コロナウイルスの感染拡大は日本人の「同調圧力」を顕在化させ、多様な価値観を認め合う時代の流れに逆風が吹いている。各地で何が起きているのか。息苦しさの原因は何か。

教諭が感染、こども園に電話殺到

「まず謝罪だ」「管理なっていない」

また電話が鳴った。「職員がどこに立ち寄ったのか調べろ」。受話器の向こうから怒気交じりの男性の声が響く。7月13日夜、群馬県の認定こども園。男性園長(52)は聞き役に徹しながら、誰も知らない相手に謝るしかなかった。「迷惑をかけたのは事実です」

この日、20代の保育教諭の女性が新型コロナウイルスに感染したことが判明。県は症状や行動歴とともに勤務先の実名を公表した。二ニュースが報じられた直後から園の電話が鳴り始める。

「なぜ東京に行かせたのか」「近隣のレストランが被害に遭った」。園長が「東京に行くことは悪いことではない」と率直に語ると「そうかもしれないが、自覚が足りない」と返された。

教諭は7月5日、東京の「新宿シアターモリエール」で観劇。その後、舞台の出演者や観客の感染が相次いで分かった。この日、都で確認された感染者は111人。7月に入って増加傾向を見せていたが、県は往来自粛を求めている

また電話が鳴った。「職員がどこに立ち寄ったのか調べろ」。受話器の向こうから怒気交じりの男性の声が響く。7月13日夜、群馬県の認定こども園。男性園長(52)は聞き役に徹しながら、誰も知らない相手に謝るしかなかった。「迷惑をかけたのは事実です」

この日、20代の保育教諭の女性が新型コロナウイルスに感染したことが判明。県は症状や行動歴とともに勤務先の実名を公表した。二ニュースが報じられた直後から園の電話が鳴り始める。

「なぜ東京に行かせたのか」「近隣のレストランが被害に遭った」。園長が「東京に行くことは悪いことではない」と率直に語ると「そうかもしれないが、自覚が足りない」と返された。

教諭は7月5日、東京の「新宿シアターモリエール」で観劇。その後、舞台の出演者や観客の感染が相次いで分かった。この日、都で確認された感染者は111人。7月に入って増加傾向を見せていたが、県は往来自粛を求めている

「病原体のような扱い」

濃厚接触でなくても登園拒まれ

お盆さなかの8月15日昼、大分市の祖父母宅を訪れていた病院事務の女性(33)＝同市＝に、勤務先の「大分三愛メディカルセンター」から職員がコロナに感染したと連絡が入った。

「うちでも出た。同じく祖父母宅にいた義兄夫婦に伝えると」「そうなん」と気に留めていない様子だった。だが翌日、入院患者の感染が報じられると事態は一変。市内の自宅に戻った義兄から、「出勤できなくなった」と告げられた。感染の恐れがあるとの理由だった。

感染者が出たのは女性が働く場所とは別の病棟。「私は濃厚接触者じゃない」。義兄から会社に説明してもらったが対応は変わらない。義兄の子どもも保育園から登園を拒まれた。病原体のような扱いに疑問を感じつつも「申し訳なさでいっぱいになった」。

センターは外来診療を停止。職員にはPCR検査結果に基づく「陰性証明書」を出した。19日まで

保護者に安心してもらうと、職員全員の復帰まで消毒作業の様子などをホームページで伝え続けた。しかし、後日のアンケートには「なぜ行かせたのか」「まずは謝罪だ」と厳しい言葉が並んだ。「管理がなっていない」との理由で、2人の子どもが園を去った。

職業を考えると要請がなくても我慢すべきだ。園長はこんな意見も耳にした。上京や観劇は「不要不急だったのか。コロナ禍は、自分にとって大事なものを選ぶ権利を個々人の手から奪い取っているように見える」。

園長は20日にわたり抗議の声を書き留めたノートを手につぶやいた。「結果的に迷惑をかけたことは謝罪すべきかもしれない。だが職員が過度に萎縮すれば、現場の空気に影響が出かねない」

お盆さなかの8月15日昼、大分市の祖父母宅を訪れていた病院事務の女性(33)＝同市＝に、勤務先の「大分三愛メディカルセンター」から職員がコロナに感染したと連絡が入った。

「うちでも出た。同じく祖父母宅にいた義兄夫婦に伝えると」「そうなん」と気に留めていない様子だった。だが翌日、入院患者の感染が報じられると事態は一変。市内の自宅に戻った義兄から、「出勤できなくなった」と告げられた。感染の恐れがあるとの理由だった。

感染者が出たのは女性が働く場所とは別の病棟。「私は濃厚接触者じゃない」。義兄から会社に説明してもらったが対応は変わらない。義兄の子どもも保育園から登園を拒まれた。病原体のような扱いに疑問を感じつつも「申し訳なさでいっぱいになった」。

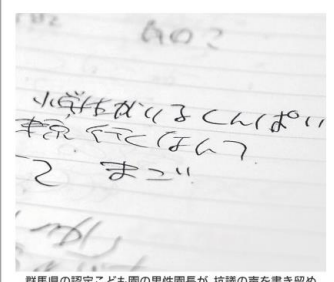
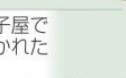
センターは外来診療を停止。職員にはPCR検査結果に基づく「陰性証明書」を出した。19日まで

「自粛警察」の事例

▶東京・高円寺のダイニングバーの看板に「ライブハウスを自粛してください。次発見すれば、警察を呼びます」との張り紙が見つかる

▶千葉県八千代市の駄菓子屋で「コドモアツメルナ」と書かれた張り紙が見つかる

▶松江市の高校でクラスター(感染者集団)が発生。会員制交流サイト(SNS)上で生徒の写真とともに「マスクも着けずコロナをばらまいている」との中傷が拡散される



群馬県の認定こども園の男性園長が、抗議の声を書き留めたノート＝10月